

## 教育委員会だより

### 大石町長を講師に迎え、租税教室が開かれました

1月27日(木)に、おおとよ小学校6年生を対象に、租税教室が開催されました。授業前には、「町長さんが来るが?」と少し緊張気味に話していた6年生でしたが、授業が始まると「町長の仕事」や「税金とは?」「教育エリアの施設建設費用は?」などの話に、興味深く反応していました。



#### 授業の感想

6年生が気づいたこと・考えたことを抜粋しました。

ぼくの中で、税金は20種類くらいあるのかと思っていたけれど、全部で約60種類くらいあり、その中でも国税・地方税などに分かれていたりして、たばこやお酒に関する税などもあり知らないことがあってびっくりしました。

そして一番おどろいたことは子どもにかかるお金についてです。全国の中でも、人口やお金で考えると東京・大阪あたりが高いかなと思っていたけれど、まさかの高知県が1位だったのでびっくりしました。

今日は税について教えてもらいとても勉強になりました。

吉岡 寛峻

私は、税金が町や国に納めるお金だということは知っていたけれど、どんな種類があってどのように使われているか知りませんでした。でも、大石町長のお話を聞くと、まず税金には国税と地方税があり、国税には所得税や法人税・消費税などがあり、地方税には自動車税や国民健康保険税などがあることが分かりました。

私も今、税金を使っているいろいろなことをしているので、その分大人になったら税金をきちんと納めたいと思いました。

秋山 瑞喜

来年開校の大豊町立大豊学園には16億円以上使われていることもわかりました。16億円は想像がつかなかったけれど見本の1億円を持ってみて予想以上に重くびっくりしました。税金は公共の場などいろいろなことに関わっているので、とても大切だなと思いました。

三谷 恵未

私がびっくりしたことは、1億円の見本を持ったことです。すごく重くて、お札も本物に似ていてすごいなと思いました。さらに持った時には見本のものとはいえ、すごく緊張しました。

私たちに一番身近なのは消費税ですが、その消費税で少しでも日本に貢献できているんだなと思うと、私はうれしいです。お母さんが税の仕事をしているので、少しでも税について知って大人になった時に少しでも日本に貢献できるようにになりたいです。

猪野 穂華

## まるごと包括支援センター通信

### ★大豊町のお達人さん紹介コーナー★

穴内二区 原 米子さん (98)

#### 【ストレッチをしています】

「70歳頃は杖がないと歩けませんでしたが、医師に『もう膝を曲げたりできなくなる』と言われましたが、お焼香の時から正座がしたいと思いストレッチをするようになりました。ストレッチ方法は、医師が教えてくれました。朝起きた時に顔を洗う前に洗面所で10分程度、つま先立ちをしたりしています。5年ほどストレッチを続けていますが、ストレッチを始めてから足をつることがなくなり、肩も軽くなりました。今は、歩くのに杖も必要なくなりました。」

#### 【食事はしっかり食べています】

「食事は、何でもしっかり食べるようにしています。1日の中でも朝食を1番しっかり食べています。お肉(豚、鶏)も朝から食べています。白米もお茶碗1杯分は食べています。これでも食べる量は昔と比べると少ないんですよ。昔は、麦ごはん2、3杯と野菜、みそ汁を食べていました。」

#### 【自分のことは自分でしたい】

「生きているうちは、“自分のことは自分でしたい”という気持ちがあります。昔は体力が必要な仕事が多く、体力がありました。また、今と違ってお寺まできれいな道もなかったので、石を飛び越えて行く必要がありました。今も動くことが健康の源と思い、洗上げをしたり庭の世話をしたりしています。」



#### 【毎日の読経、前向きに考える】

「毎日、4時間はお経を読んでいます。昔は、7時間ほど読んでいました。字を見て読むだけでも違いますし、お経を読んでいると落ち着きますね。お寺には、様々な年齢の方が来てくれます。若い方も来てくれるので、私はよく話をしています。若い方について行くためにもよくよく考えず、前向きに考えるようにしています。」



※写真のお花はお寺(妙泰寺)の本堂に飾ってあり、米子さんも作成を毎年行っているそうです。とてもきれいでした♪

体の調子が悪くなった時に、諦めてしまうのではなく、「正座だけはできるようにしたい!」という思いでストレッチを始められ、今では杖が必要なくなったというお話に、「前向きに取り組むことの大切さ」を、取材した私も教わりました。体の調子は、60~70代の頃より、今の方が良いとおっしゃっていたことも印象的でした。取材を引き受けてくださり、ありがとうございました。



引き続き、取材を続けていきたいと思えます。自分のためにしていること(運動、散歩、栄養、趣味の活動など)をぜひ、地域支援班までご連絡ください。自選、他選は問いません♪

大募集

問い合わせ先 地域福祉課 地域支援班 大豊町まるごと包括支援センター